

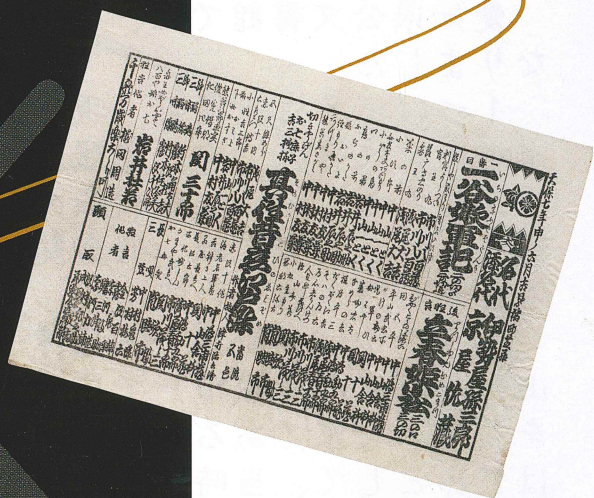
橘町

第49回愛知県公文書館企画展

新・収蔵資料展

古文書にみる尾張の町と三河の村

杉山村



11月3日(金・祝)、
11月23日(木・祝)は
臨時開館します。

2023年10月10日(火) ~ 12月8日(金)



【開館時間】午前9時～午後5時

【休館日】土・日・祝日

※11月3日(金・祝)、23日(木・祝)は臨時開館

【アクセス】

地下鉄名城線 名古屋城駅5番出口 徒歩1分

市バス・名鉄バス(基幹バス) 市役所下車 徒歩3分

愛知県公文書館(愛知県自治センター7階)

〒460-0001

名古屋市中区三の丸2-3-2

電話：052-954-6025

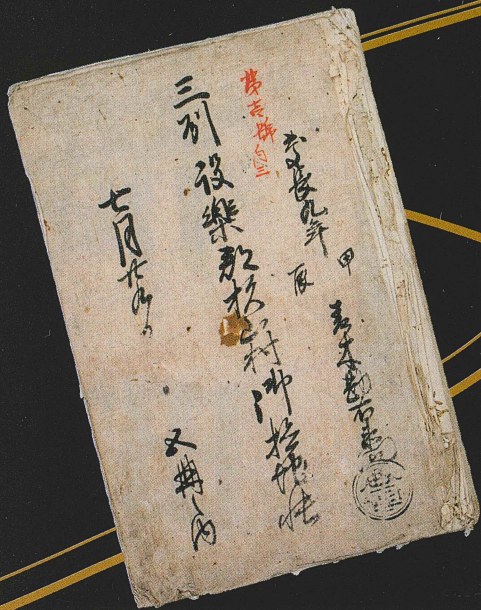
URL：<https://kobunshokan.pref.aichi.jp/>

入場
無料



愛知・名古屋

戦争に関する資料館
掲載資料：(左上) 裁許絵図木箱(新城市榊原淳一郎氏収集資料)、(右下) 芝居番付(名古屋市吉田家文書)



三州設樂郡杉山村御検地帳
(新城市榊原淳一郎氏収集資料)



楽家録 (名古屋市吉田家文書)

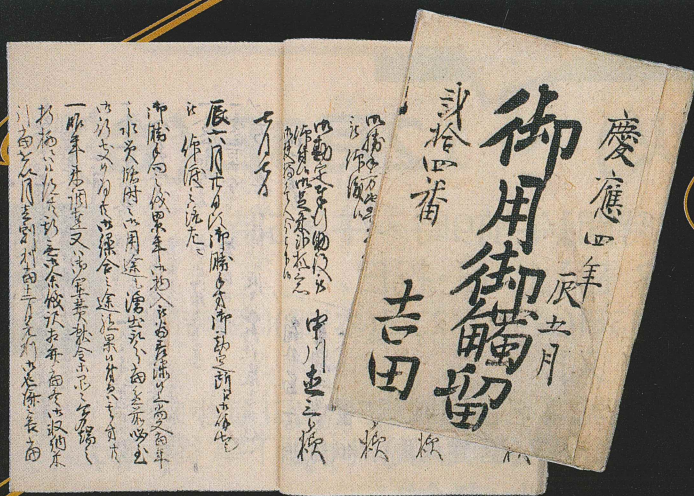
愛知県公文書館では、今年度、新たに2つの資料群が収蔵されることとなりました。

1つは旧名古屋橋町(現在の名古屋市中区)の商家に伝来した「名古屋市吉田家文書」です。高麗屋吉田家は、油問屋を営んでいたため、その経営に関する記録や熱田新田の新田経営に関する資料が伝来しているほか、芝居番付、茶会記録、雅楽関係など、名古屋町人の文化を知ることができる資料が残されています。

もう1つは「新城市榊原淳一郎氏収集資料(詮行館文庫)^{せんこうかん}」です。西杉山村(現在の新城市)で庄屋を務めていた今泉忠左衛門家に伝来した資料を、郷土史家である榊原淳一郎氏が収集したもので、年貢免状、御触留をはじめとして、当時の村の様子がかげえる資料が残されています。

今年度の企画展では、2つの資料群を紐解き、尾張の町と三河の村の生活を対比させる形で紹介します。

尾張と三河の江戸時代の人々の暮らしがどのようなものであったのか、資料を通してお楽しみください。



御用御触留 式拾四番 (名古屋市吉田家文書)



今泉忠左衛門家の写真 (旧県史資料)

<関連企画> 2023年10月13日(金)~11月8日(水)
愛知県図書館1階エントランスYottetoko(ヨツテコ)において、企画展と同じ2つの資料群をテーマとした展示を実施します。ぜひ、そちらもご覧ください。